

下水道事業特別会計

留萌市都市環境部上下水道課管理係
TEL 0164-42-2049

総括

下水道は「汚水の排除」「浸水の防除」「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設(財産)です。平成30年度の下水道事業特別会計の決算状況は、収入1,270,443,947円に対して支出1,270,443,947円であり、収入支出差引及び単年度収支については収支均衡のためプラスマイナス0円となりました。収入においては、繰越事業の完了に伴う国庫支出金・市債の減などにより前年度より減少しました。支出においては、下水道事業認可変更・計画策定の完了や繰越事業の完了による建設費の減少、収支均衡により前年度繰上充用金が不用となったことで前年度より減少しました。

下水道投資の概要は、施設では浄化センターの老朽化した機械・電気設備の更新工事を実施しました。雨水管では浸水対策として潮静地区の管布設を実施し、汚水管では未普及解消として東部・潮静地区の測量、地質調査と管布設の設計を実施しました。

処理区域内人口は17,715人で水洗化人口は15,908人、水洗化率は89.8%、普及率は84.6%となっており、下水道使用水量は1,508,978m³となっております。

収入

■前年との比較

①受益者負担金

下水道認可区域の拡大により、大規模施設を含む受益者の増加による増。

②下水道使用料等

水洗化率は微増(+0.3ポイント)ながら、水洗化人口の減少による減。

③⑤国庫支出金・市債

補助事業の減少に伴う減。

④繰入金

事業収支の改善に伴い、一般会計からの繰入金を減額調整したことによる減。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度			平成29年度		平成29年度決算との比較	
	予算額	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	C (A-B)	C/B
①受益者負担金	5,894	5,895	0.5	348	0.0	5,547	激増
②下水道使用料等	355,146	360,633	28.4	366,076	26.3	△ 5,443	△ 1.5
③国庫支出金	120,631	120,335	9.5	155,903	11.2	△ 35,568	△ 22.8
④繰入金	376,410	363,912	28.6	371,578	26.7	△ 7,666	△ 2.1
⑤市債	419,000	418,700	32.9	497,800	35.8	△ 79,100	△ 15.9
⑥その他	946	969	0.1	217	0.0	752	激増
合計	1,278,027	1,270,444	100.0	1,391,922	100.0	△ 121,478	△ 8.7

支出

■前年との比較

①下水道管理費

下水道認可変更・計画策定事業の前年度終了による減。

②下水道建設費

繰越事業(雨水管整備)の前年度終了による減。

③④公債費

元金一元利均等償還債による元金の減。

利子一元利均等償還債による利子の減及び一部金利見直しによる減。

⑤前年度繰上充用金

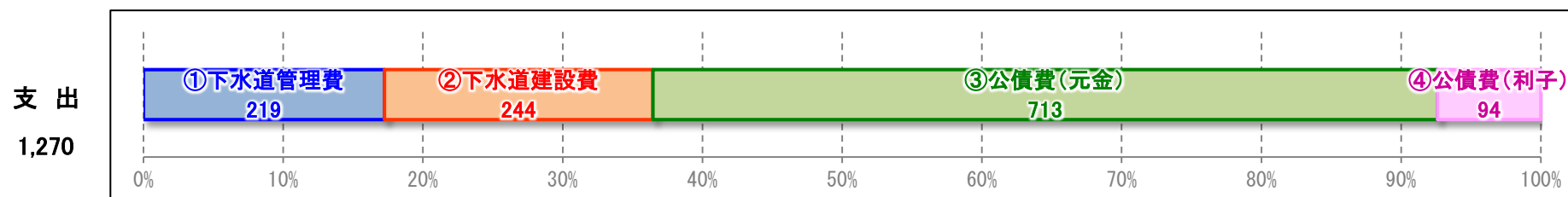
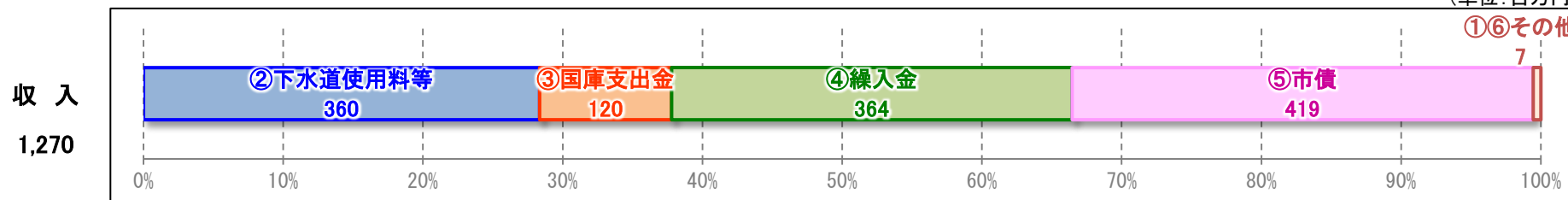
収支改善により前年度の赤字補てんである前年度繰上充用金が解消。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度			平成29年度		平成29年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
①下水道管理費	225,389	219,086	17.2	232,458	16.7	△ 13,372	△ 5.8
②下水道建設費	244,458	243,661	19.2	312,600	22.5	△ 68,939	△ 22.1
③公債費(元金)	713,299	713,299	56.2	707,114	50.8	6,185	0.9
④公債費(利子)	94,446	94,398	7.4	109,158	7.8	△ 14,760	△ 13.5
⑤その他	435	0	0.0	0	0.0	0	-
⑥前年度繰上充用金	0	0	0.0	30,592	2.2	△ 30,592	皆減
合計	1,278,027	1,270,444	100.0	1,391,922	100.0	△ 121,478	△ 8.7

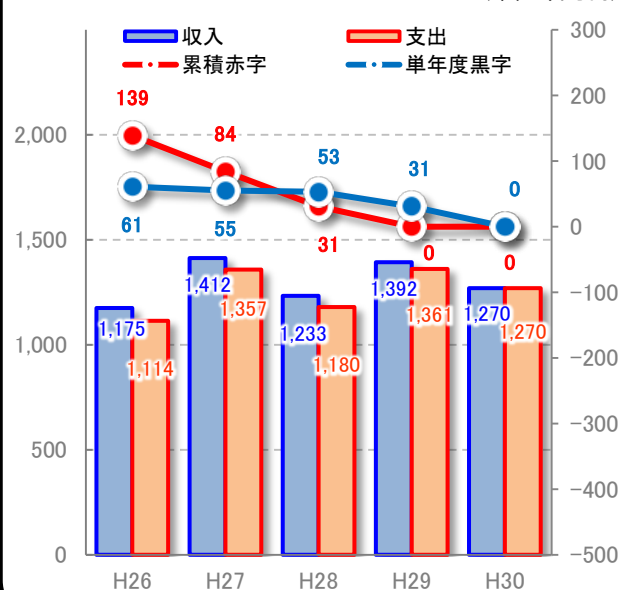
収支の状況（平成30年度決算）

(単位:百万円)



単年度収支と累積赤字の推移

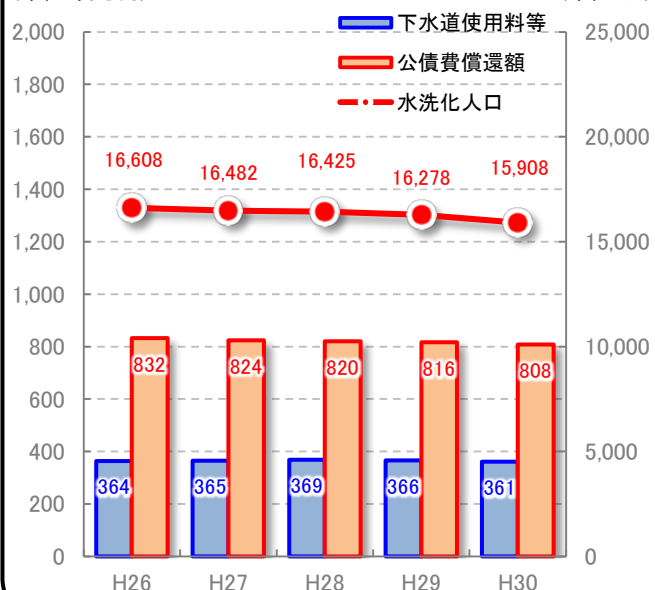
(単位:百万円)



水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料等の推移

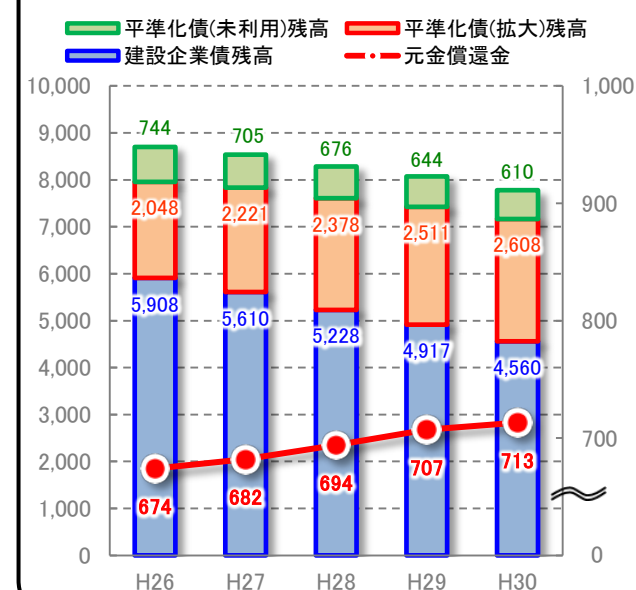
(単位:百万円)

(単位:人)



下水道整備に要した企業債の推移

(単位:百万円)



令和元年度執行状況（9月30日現在）

収入

■収入の状況

- ①受益者負担金 新たに賦課対象地区となった土地に対する受益者負担金が発生しており、ほぼ納期通りの収入となっています。
- ②下水道使用料等 前年度とほぼ同じ収入率で推移しています。
- ③国庫支出金 国からの補助金で、年度末の収入となります。
- ④繰入金 市から下水道事業への繰出し(負担)で、年度末の収入となります。
- ⑤市債 下水道整備のための借金で、年度末の収入となります。
- ⑥その他 国道整備に伴う下水道用地の一部売払い収入があります。

(単位:千円、%)

予算科目	令和元年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
①受益者負担金	5,796	1,474	25.4
②下水道使用料等	347,844	141,135	40.6
③国庫支出金	316,000	0	0.0
④繰入金	407,420	0	0.0
⑤市債	590,700	0	0.0
⑥その他	1	179	17,900.0
合 計	1,667,761	142,788	8.6

支出

■支出の状況

- ①下水道管理費 一般管理費、管渠維持費、浄化センター費などの維持管理費用は例年並みに推移しています。
- ②下水道建設費 下水道施設の改修工事や雨水・汚水管の設計委託、布設工事に係るもので、年末から年度末にかけて工事等が完了する予定でその後の支払いになります。
- ③公債費 市債(借金)の返済は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	令和元年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
①下水道管理費	245,740	90,142	36.7
②下水道建設費	630,000	66,911	10.6
③公債費(元金)	700,999	346,936	49.5
④公債費(利子)	88,022	42,153	47.9
⑤その他	3,000	0	0.0
合 計	1,667,761	546,142	32.7

※9月末時点で収入済額に対して支出済額が上回っていますが、国庫支出金・繰入金・市債の収入が年度末となるためであり、不足分については会計間の一時借入によって補っています。